

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1
健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 山崎一幸 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	特定医療費等助成事業	
目的	(1) 対象	難病患者
	(2) 意図	難病患者の医療費負担の軽減及び治療法の確立を図る
事業概要	〔指定難病〕 当該疾病にかかる医療保険の給付額を除いた額から、患者の自己負担額を除いた額を公費で負担 〔特定疾患治療研究事業・先天性血液凝固因子障害等治療研究事業〕 当該疾病にかかる医療保険の給付額を控除した額を公費で負担 ※いずれも、助成の対象となる医療は、入院・通院を問わず、認定に係る対象疾病に付随して発生する疾病に関する、認定期間内の医療に限る。 〔スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業・在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業〕 施術又は訪問看護を実施した機関に対し、その費用を公費で負担	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位		
1	指標名	受給者証の交付件数	目標値	6,100.0	6,300.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	件	
	式・定義	指定難病及び特定疾患の受給者証交付件数	取組目標値							
				実績値	6,171.0	6,544.0	5,872.0			
				達成率	101.2	103.9	83.9	-	-	%
2	指標名		目標値							
	式・定義		取組目標値							
				実績値						
				達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	947,827	1,134,867
うち一般財源 (千円)	448,821	577,428

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○受給者証交付件数（平成30年3月31日現在）	5,854件（※H29.12.31をもって経過措置が終了したことに伴い、認定件数が減少）
〔指定難病（特定医療費）〕	18件
〔特定疾患治療研究事業〕	7件
〔在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業〕	4件
〔スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業〕	29件
〔先天性血液凝固因子障害等治療研究事業〕	
○制度改正により、疾患の種類は増えているが、軽症で認定されなかったり、患者の意向により未更新などにより、交付件数は横ばいとなっている。	

6. 成果があったこと（改善されたこと）

①平成27年7月から、助成対象疾病が拡大（110疾病→306疾病）され、受給者数が増加した。
 ②平成29年4月1日から助成対象疾病が24疾病追加され、330疾病となった。
 ③平成30年4月1日から助成対象疾病が1疾病追加され、331疾病となった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 ○公費助成の対象となる個々の疾病ごとに定められている「病状の程度（重症度）」について、患者や関係者の理解が不十分。
 ○H29.12.31の経過措置終了に伴い、重症度を満たさないことにより不承認となった者及び未更新の者（受給者証未交付の者）に対するフォロー（軽症者特例等）が必要となる場合がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ○本事業や各種特例制度等について、患者や関係者に十分に理解されていない。
- ③原因を解消するための「課題」
 ○本事業や各種特例制度等について、患者や関係者の理解をすすめる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○制度周知用のチラシを作成し、患者に対しては、更新の案内や患者・家族会の場で、関係者に対しては、難病指定医等の研修会等での制度説明やチラシの配布など、様々な機会を捉えて制度の周知を図る。